



西会津中学校 学校だより

令和4年2月28日第12号
発行者 校長 佐藤 崇史

雄飛

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

揺らぐず、とらわれず ～今、出し切ることに集中する～

令和4年になったと思っていたら2月も終わり、入試と卒業式がある3月を迎えます。月日の流れの早さを強く感じているところです。

3年生にとって、中学校に登校するのも残すところ9日となりました。1日1日があっという間に過ぎ去っていく感覚だろうと思います。最近の生徒達の様子を見ていますと、卒業が近いからといって、今までと変わることなく、毎日明るく楽しく笑顔で生活しています。そのことが3年生にとって、これまでの3年間の学校生活が楽しくかけがえのないものであったことを表しているのを感じ、うれしく思います。

36名の巣立ちの日が迫っていますが、その前には、入試という壁が彼らの前には立ちはだかっています。入学試験に臨むことは、15才の心を緊張と不安でいっぱいにすると思います。私自身、これまで様々な入学試験や面接で緊張と不安を抱いてきましたから、その気持ちはよくわかります。15の春を迎えるには、これを乗り越えていかなければなりません。

どうしたら、不安や緊張に打ち勝つことができるのかと考えたとき、北京冬季オリンピックの羽生結弦選手の言葉を思い出しました。羽生結弦選手は、4回転半ジャンプに挑戦し、失敗します。結果も金メダルをねらったものの4位です。しかし、試合の後に出てきた彼の言葉は「全部、出し切ったというのが正直な気持ち。明らかに前の大会よりも、いいアクセルを跳んでいたし、『もうちょっとだったな』という気持ちももちろんあるが、あれが僕の全て」という自分がどうしたかに焦点が当てられています。

つまり、羽生選手は、結果に目を向けるのではなく、その瞬間にどれだけ力を発揮したか、結果よりもそこに至るまでに何をしたかを大切にしているのです。だから、羽生選手は結果が悪くても、「揺らぐず、とらわれず」に自分としっかり向き合っている状態に至っていると思うのです。

同じく、北京オリンピック銀メダルの女子カーリングの吉田知那美選手も「ゴールは達成できなかったが、過ごしてきた時間は間違っていなかったと、このメダルに言ってもらっている気持ち。」と語っています。やはり目標は達成できていないのですが、納得して終わっていることから、結果ではないところを見ているのを感じます。

「成功とは、自分がベストを尽くしたときに得られる満足感のことだ」とはアメリカのバスケットボールコーチとして有名なジョン・ウッデンの言葉ですが、北京オリンピックでの羽生選手や吉田選手の言葉も、結果ではなく、ベストを尽くしたことで得た満足感を表しています。それは、結果よりも、そのプレーの瞬間を楽しむこと、その一瞬を大切にしているから得られたことなのだと思います。

私たちは、物事をネガティブにとらえ、意味付けする習性があります。それは予測できない結果を、自分の過去の体験から勝手に意味づけしているのです。入試で失敗するかもしれない、数学で計算ミスしたらどうしよう、わからない問題があったらどうしようと、どうなるかわからないことにマイナスの意味づけをしてしまいます。

入試ですから、緊張しない人はいませんが、結果を気にするのは当然です。でも、試験当日は、目の前のことにベストを尽くし、出し切ることに集中してきてほしいです。そうすれば、マイナスの意味づけをすることなく、自信をもって取り組めるはず。過去の自分や未来の結果という不安にとらわれず、とにかく今に集中して自分を信じて揺らぐず、とらわれず、試験に臨んでほしいです。上機嫌で楽しめるぐらいの自信を持つだけの努力をしてきたはず。3年生全員が自分の力を100%発揮してくることを願っています。

感動の卒業式に～心をそろえて～

今、全校生徒や学年事に卒業式の練習を行っています。全校での練習は新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、学年ごとに分かれて、Google meetを使ってオンラインでの合同練習も行っています。

動きをそろえるだけでなく、心をそろえる。感謝の思いをもつことをそろえて、その思いがそれぞれの伝えたい相手に伝わるような卒業式にすることを全校生徒全員に話しました。

コロナ対策のための制約はありますが、その中でできることを工夫して、西中生全員で心をそろえて、素敵な卒業式をつくりあげます。



先輩に聞く会 ～西会津中学校3年生へ、卒業生からのメッセージ～

2月16日に本校の卒業生である佐藤憲次様から、3年生に向けてご講演をいただきました。

佐藤憲次様は、本校の卒業生で、東京大学卒業後、現在は三菱重工とデンマーク Veatas 社の合併会社である MHI Vestas Japan 社にて、日本向け洋上風車の設計を行っていらっしゃいます。

自らが進んだ進路について紹介することで、進路を決める3年生の参考にしてもらえればとのことで、様々な内容のお話いただきました。

「将来の夢は年齢とともに変わる」「人と話す機会はとても大切である」「時には一歩踏み出す勇気が大切である」「様々なことに興味をもって取り組むことで、自分のやりたいことを見つけるチャンスが広がる」など、3年生に向けたたくさんのメッセージをいただきました。

また、洋上風車についての具体的なお話もありました。洋上風車は風力発電という持続可能エネルギー。SDGsにもつながる、これからの社会に生きる私たちにとって考えさせられる内容でした。

3年生にとって、西会津の先輩との貴重な出会いの時間となったと思います。子どもたちの人生につながっていくとても素敵な講演会でした。ありがとうございました。



将来の夢、そして出会いを大切に

先輩に聞く会を実施して、佐藤憲次様の「将来の夢は年齢とともに変わる」という言葉を、本当にその通りだと実感しながら聞いていました。

中学生には、夢を持ってほしいとよく話します。しかし、それは早く将来を決めなければいけないという無言のプレッシャーになっている部分もあるかもしれないと感じていました。もちろん夢を持つことは大切なことです。しかし、重要なのは、夢を実現させることや将来に見通しを持つという面だけではなく、夢を持つことで努力したり、夢を持つことで前向きになったりするという意味で大事にしたいのです。今、将来を決めろというのではなく、これから将来の夢は変わっていいから、未来に夢や希望を持って、前向きに努力してほしいと思うのです。

さらには、将来の夢はさまざまな出会いで変わってきます。多くの偶然や出会いが人の人生を変えていくと思います。学校生活の中でたくさんのことを経験し、たくさんの人に出会うことを大切にしたいです。何より、その出会いを貴重な出会いと感じる「感性」を身に付けてほしいと思っています。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底

本校では、福島県全域に「まん延防止等重点措置」が適用されていることを受け、感染リスクの高い活動については停止し、感染予防の徹底を図っています。

また、部活動については、マスクを着用して少人数で短時間の実施としています。(休日の練習は中止しています)

感染予防にはマスクをしっかりと着けることが重要になります。子どもたちは、全員きちんとマスクを着けて学習に取り組んでいます。これまで以上に徹底しようと思っています。その意識を継続して、対策を徹底していきます。

町民参加型合意形成プラットフォーム「Decidim」本格始動

町民参加型合意形成プラットフォーム「Decidim (デシディム)」を2年生が本格的に始動しました。

アントレプレナーシップ学習で考えた、西会津のワクワクする未来の実現に向け、そのアイデアをオンライン上にアップしました。

難しい作業もありましたが、さすが2年生。目指すゴールにしっかりととどり着きます。

これからいよいよアイデアの実現に向けて動き出します。

学びを形に。地域の方の力を借りて前進していきます。



3月の予定

3日(木) 第3回パワーアップテスト
(1・2年)

県立高校前期選抜入試

4日(金) 県立高校前期選抜入試

7日(月) 卒業式予行⑤⑥

11日(火) 卒業証書授与式

16日(水) 熟読タイム

21日(月) 春分の日

23日(水) 第3学期修了式

29日(火) 離任式

